

銀漢亭日録



伊藤伊那男

2月10日(金)▼パリ在住の秋葉みなみさん、堀切君の紹介で。凌雲君。あと閑散と思いきや、「俳壇」パーティー後の佐怒賀正美・直美兄弟、秋尾敏、夏井いつき夫婦、俳壇賞の蜂谷一人夫妻、星野高士、權未知子、しなだしん、阪西敦子……各氏。

11日(土)▼十時、運営委員会。十三時、麴町会館にて「銀漢本部句会」。五十七人。あと、近くの中華料理店にて親睦会。

12日(日)▼「春耕新年俳句大会」で高幡不動尊。盤水先生のお墓参り。乾杯の挨拶。途中、高木良多先生逝去の報あり。「増田屋蕎麦店」にて二次会。あと十人程でカラオケ。帰宅するとスキーから戻った家族が焼肉店に行くというので一緒に。うむ……飲み過ぎ、食べ過ぎ。

13日(月)▼事業部中心に新年俳句大会お手伝いの方々の慰労会。十四人。水内慶太さん御一行四人。発行所は三月号校正。あと私のエッセイ集の表紙の件など打ち合わせ。

14日(火)▼RM(ランニングマシーン) 一時間。店「火の会」九人。他閑散。

15日(水)▼高木良多先生告別式。南荻窪願泉寺斎場。「春耕」創刊時から盤水先生を支えた方。店、伊那北高校同期の「三水会」五人。

16日(木)▼RM5 km。「あ・ん・ど・うクリニック」。店、妻が参加していた「山古志村で日本酒を造る会」の方々十二人。仲間を偲ぶ会。あと「銀漢句会」二十人。伊那の小池百人君。

17日(金)▼「葛句会」十人。あと、題の白魚の生。やり鳥賊と若筍、菜の花の煮椀。鰯のつけ焼。あと握り。戻り、宮澤事務所の新年会。スタッフや独立した弟子など十数人集まる。私も料理数皿出す。

店、「銀化」梅田津、峯尾文世さん他。発行所「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十人。

7日(火)▼RM5 km。店、阪西敦子さん〇歳誕生パーティー。祝句持ち寄り十三人。俳人協会総会あとの茨木和生先生、朝妻力、播広さん、「たかな」の吉田千嘉子さん。中村与謝男さん、などなど。賑わう。

8日(水)▼RM5 km。思えば結婚記念日。四十二年前になる。発行所「梶の葉句会」へ選句。店、閑散。水内慶太さん一派。武田編集長。北爪さん。

9日(木)▼「極句会」あと八人。飯田眞理子さんがゲスト。

10日(金)▼礼状。通信など。大山かげもとさんの句集「草紅葉」(北辰社) 上梓など。五冊目。上々の仕上がり。店、池田のりをさん、大王製紙の田中役員と同期生。

11日(土)▼十時、運営委員会。十三時、全国家電会館にて「銀漢本部句会」六十一人。あと「はなの舞」にて親睦会十数人。

12日(日)▼久々、終日家。「春耕」六月号へ故高木良多顧問の一句鑑賞。エッセイ下書き。鳥織布句集選。「春耕」の中島八起句集選。「高遠句会」へ五句出句。賞品小色紙染筆。などなど。

13日(月)▼店、藤森さんの「閨句会」七人。「天為」の西村我尼吾・対馬康子夫妻。

14日(火)▼「門同人会」に発行所貸し出し。「火の会」七人。同人有澤志峯さん、三年振りか。母上の介護から解放と。豆腐類沢山お土産に来てくれる。萩原陽里さん、お水取り吟行の帰路と。井蛙さんインフルエンザから復帰。

15日(水)▼「草樹」小山徳夫さん他七人。環さん誕生日と。「北軽井沢句会」の柴山つぐ子さん、佐藤さゆりさん、鎌倉の帰りと。お土産持って訪ねて下さる。「三水会」六人。二十二時、閉めて「ふくの鳥」で一時間程飲む。

す。

19日(日)▼十三時、池袋東京芸術劇場のミーティングルーム、「爽樹」俳句会の「東京梓鍛錬句会」にゲストで招かれる。井上井月について三十分程講演。あと句会、あと親睦会。「魚盛」二十一時、お開き。

21日(火)▼RM5 km。店、「井月忌の集い」の打ち合わせで井上井月顕彰会のメンバー。伊那出身の下平和彦さん(鎌倉市次長)。

24日(金)▼四月号の同人、会員の投句選終える。発行所「門」同人会に貸し出し。その前に三月号発送。あと「金星句会」。環さん四人、など。

27日(月)▼四月号選評など追い込み。店、演劇人の句会、八人。国会議員のT先生。今年初めてか。

3月1日(水)▼彗星集選評を書き上げて四月号の執筆終了。店、「きさらぎ句会」あと十一人。「宙句会」あと十三人。銀漢へ、二名新規入会申込書を受ける。

2日(木)▼雑用沢山。店、「十六夜句会」ゲスト松山さんと。あと十三人店。山田真砂年さん、山崎祐子さん。

3日(金)▼区の健康診断。店「大倉句会」あと二十数人。

4日(土)▼アルカディア市ヶ谷にて「第四回井月忌の集い」。百六十人位集まったか、盛況。懇親会では伊那の勘太郎の踊りも。あと、近くで打ち上げ。

5日(日)▼「角川現代俳人名鑑」にショートエッセイ、代表句十句など。俳句四季五月号へ巻頭句三句。「春耕」へ菅原庄山子さんへの追悼文。雑用あまた。留守番頼まれたこともあり、「春耕同人句会」欠席。久々、時間あり、RM5 km。十七時からの中野サンプラザ、前川みどりさんを偲ぶ会には出席。あと「炙谷」。

6日(月)▼RM5 km。奈良の畑中利久君より電話あり。奈良国博や春日大社国宝館にカフェを出店している実業家。野村證券同期。

16日(木)▼健康診断の結果、異常なし。エッセイ集「銀漢亭こぼれ嘶」最終校正。既に五・六回は直したが、見る度に気になる所がある。孫達、学期末。二番目が中学生に、四番目が小学生に。店「銀漢句会」あと十六人。

17日(金)▼RM5 km。「葛句会」選句あと六人。三ヶ月に一度の「白熱句会」。水内慶太、檜山哲彦、井上弘美、小山徳夫、佐怒賀正美、十句出し。あとは閑散。

18日(土)▼十一時、あずさ号にて岡谷乗り換え伊那市駅。井蛙さんの迎えを受け、高遠町「やますそ」にて「銀漢高遠句会」へ。十五人程の方が集まって下さる。句会あと伊那の「角八」にて親睦会。料理多々。最後のおろし蕎麦うまし。あと有志で「エルテ」「アドニス」と巡り、ラーメン餃子の「曼荼羅亭」。明日、高校駅伝で全国から二百校位集まるとホテル全く取れず、井蛙さんの実家にお世話になる。

19日(日)▼九時超。二日酔い。井蛙さん朝食作ってくれる。天竜川の東岸、火山峠を経由、蔵沢寺、桃源院などを巡る。十五時過ぎ、二日酔いがさめぬという井蛙さんと分かれ、駒ヶ根の従兄弟の家。するめの乾漬、瓜の酒粕漬、ごぼうのキンピラなどの私の好物を用意してくれていて迎え酒のビール。十八時、町の居酒屋に友人三人集まってくれて歓談。二十二時、「駒ヶ根プレモントホテル」泊。

20日(月)▼ぐっすり寝る。九時間程か。久々。快晴。木曾山脈の雪嶺が鮮烈。「高きを我に学べよ」の高校の校歌を思い出す。光前寺で従兄弟の車に迎えに来て貰い「福玄」の蕎麦。母の実家のルーツなどを聞く。安楽寺を訪ね、飯田実雄住職に挨拶。十三時五十分発の飯田線で岡谷。あずさ号で新宿。